

祭事暦

11月1日・20日 午前8時30分
 月次祭
 11月3日 午前8時30分
 明治祭
 11月15日
 七五三祭
 11月23日 午前10時
 新嘗祭



相模

発行所
 寒川神社社務所


〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 前島 正
 責任者
 印刷所 樹さんこうどう




鎮守の森

日本で最初に人間ドックを開設され、今年十月で満一〇三歳を迎えられた聖路加国際病院名誉院長・日野原重明先生が、以前の講演活動の中で、小学生へ向けた「いのちの授業」があり、とてもためになる話をされています。十歳ぐらいの子どもたちに「いのちってどこにあると思う？」と問いかけるとほとんどの子が心臓に手をあてるそうです。先生は「心臓は、いのちを保つために血液を体に送る大切な役割を果たしているけれど、いのちそのものではありません。いのちは見えないし、さわれないもの」と答えます。すると先生は子どもたちに、「時間は見える？」と尋ねます。子どもたちは戸惑いますが、先生は続けて「昨日も明日も時間が見えませんが、も今日、寝たり、勉強したり、遊んだりするのは、きみたちの持つている時間を使っていますね。時間を使うことができるということが生きている証拠。つまり時間の中にいのちがあるのです。いのち(時間)は空気とおなじで目には見えないけれど、それを実感し、自分のいのちと同じように、他人のいのちを大切にしてくれたら、いじめやけんかはなくなるでしょう。そして将来は、その時間(いのち)を自分だけのために使うのではなく、家族や友達など他の人のために何かができる大人になってください」と語りかけたということです。いやなことは自分で引き受け、良いことは他の人にわかち与える。自分をひとまずおいて、まず他の人のために働くことを説いています。誰もがもっている大切ないのち(時間)をどう使えばよいのか、しっかりと考えたいものです。(鈴木康宏)



祝祭日には
 国旗を掲げましょう

神嘗奉祝祭斎行



伊勢の神宮では十月十五日より十七日にかけて、今年収穫された新穀を天照大御神に捧げ、一年間の御守護と五穀の豊穰に感謝する年間最大の祭事である、神嘗祭が斎行されました。

神宮で最も重要な祭儀の一つとされるこの祭典が盛大に執り行われる事を祝い寒川神社でも神嘗奉祝祭が厳粛に斎行されました。

神嘗祭初穂曳奉仕

十月十五日、全国から集められた初穂を「お木曳車」に載せて神宮に奉納する「初穂曳」が行われ、当社社からも総代長を始め三名が参加奉仕しました。

当日は、約二千名が揃いの法被と鉢巻を身に纏い勇ましくも賑やかに伊勢の町を練り歩き、外宮へと三基のお木曳車を運び入れ初穂を奉納しました。またその夜には浄暗の中斎行さ



れた神嘗祭由貴大御饗儀を奉拝しました。

神嘗祭を奉仕して

豊受大神宮(外宮)
権禰宜 井上浩之

十月十五日・十六日の両日にわたり、神宮の外宮(豊受大神宮)にて行われました神嘗祭にご奉仕する機会をいただきました。

外宮の神嘗祭は、十五日の午後十時に行われる由貴夕大御饗儀、翌十六日の午前二時に行われる由貴朝大御饗儀、同日の正午に行われる奉幣儀、同日の午後六時に行われる御神楽の諸儀となります。またこれらの祭典の後、引き続き域内に



内宮 由貴夕大御饗 (神宮司廳 提供)



外宮 奉幣 (神宮司廳 提供)

ある別宮多賀宮において同様の祭典が行われます。奉仕をした深夜の祭典では、昨年遷宮が行われた正殿を、下弦の月明かりが浄暗の中に白く浮き上がらせ凛とした空気の中で肅々と祭典が行われました。真摯な祈りの祭典を強く心に留める奉仕となりました。

今回の機会を与えて頂きました方々、また御指導下さいました神宮職員の皆様、誠に厚く御礼申し上げます。

新嘗祭への御奉納承ります

本年の豊穰と勤労の感謝を神に捧げる新嘗祭に際し皆様方の報恩感謝の真心を御神前にお取り次ぎします

新米・酒・野菜・果物・花・菓子などの奉納を承りお名前を記名しお供え致します。

尚、お酒の奉納(奉献酒)は、社頭にて一升二千円にて、お受けする事もできます。





末社宮山神社例祭齋行

宮山町内の氏神として町内の方々に篤く崇敬されている末社宮山神社の例祭が九月二十九日、多くの氏子崇敬者参列のもと、厳肅に齋行されました。

十月五日には神幸祭・神賑行事が行われました。

本年は一日中雨が降り続き肌寒い程でしたが、担ぎ手の意気は揚々としており威勢よく担がれた神輿が宮山町内を練り歩きました。



人形感謝祭齋行

「人形の日」である十月十五日、人形感謝祭が齋行されました。

当日は雨模様にも拘わらず、形代として自身の成長と共に飾られてきた雛人形や五月人形、日々親しみ心を慰められたぬいぐるみ等、多くの人形が納められ役割を終え、焼納される人形に感謝の念が捧げられました。

茅ヶ崎・寒川

秋の短歌大会開催

―一之宮賞を授与―

去る十月十一日、茅ヶ崎・寒川短歌会による秋の短歌大会が開催されました。厳正なる審査の結果、厚木市の清水紀伊氏の歌が一之宮賞に選出され、賞状等が授与されました。

〈一之宮賞受賞作品〉

生きたとは食へることなり
飽きもせず
独りの食を さくさく作る
清水 紀伊



第三十六回自衛消防隊 消火技術大会出場

十月二十日、寒川町危険物安全協会主催による第三十六回自衛消防隊消火技術大会が、さむかわ中央公園にて開催され、寒川神社の消火を担当する初期消火班が、小型ポンプ操法の部に出場しました。

本年若返りが図られ、出場者四人の内三人が新人という構成で大会に臨みました

神嶽山神苑

行事案内



神楽舞と雅楽の奉奏

二十二日(土) 午後二時
二十三日(日) 午後二時三〇分
二十四日(月) 午後二時
三十日(日) 午前十一時午後二時
約二十分間(雨天時は中止)
※二十四日は振替休日にて開苑します

※尚、入苑はご祈祷をお受けになられた方に限りです

が發揮出来ますよつ、訓練に励んでまいります。



【宮山】
下 中島和則 殿外六六
根岸(上) 戸田久夫 殿外三九
根岸(中) 吉見 信 殿外五
根岸(下) 石井 進 殿外三八
オリブの丘岡戸 龍 殿外二
旭(東) 杉山直弘 殿外三五
旭(西) 佐藤廣孝 殿外一三
上合 荒川 誠 殿外二三
中里(上) 石黒 勉 殿外三五
中里(下) 福岡清一 殿外三五
中里(河原) 高林靖男 殿外二三
中里(ザン) 猪原和泰 殿外五
馬場 東 正彦 殿外二七
雷 龜山泰雄 殿外二一
宮山南 江川辰夫 殿外九
火の見下 清田光男 殿外四
鳥井戸2 森口恭一 殿外九
一〇、〇〇〇円

南谷畑稲荷坂井 正子 殿外六
富士見町 廣田峯雄 殿外三
仲町1 入澤義光 殿外四
下河原1 田川 淳 殿
西町1 牛島大補 殿外一七
西町2B 谷島俊郎 殿
新道 平岡賢太郎 殿外三
四、〇〇〇円

平成二十六年
例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

平成二十六年の例祭齋行にあたり、氏子崇敬者各位より多くの神徳奉賛金をご奉納いただき厚く御礼申し上げます。ご奉納賜りました奉賛金は、例祭当日ご神前にお供えし各位の家運隆昌・生業繁栄を祈念申し上げます。

宿1 木村俊一 殿外七
宿2 島海多恵子 殿外一〇
宿3 中島孝志 殿
東1 秋元隆宏 殿外五
東2 向川 明 殿外一
東3 5B 高尾行一 殿
小町屋 3 高橋 博 殿外一八
一〇、〇〇〇円

鳥井戸4・5 金子 巖 殿
目久尻 福田圭治 殿
久保地 三澤末廣 殿外五
仲町 臼井 英 殿外八
上町 武田 博 殿
仲町原 佐藤判夫 殿外四
五、〇〇〇円

【西岡田】

上町・下町三留 春雄 殿外七
八、〇〇〇円

【岡田新町】
南 高橋 進 殿
南2 金沢純一 殿外一
南駅前通 三堀 昇 殿外一
六、〇〇〇円

【小谷】
東1 三澤敬機 殿外三
西 松井博之 殿外六
原1 藤井喜代治 殿外七
【大蔵】
入町 栗田 馨 殿外五
菅谷台 奥津 肇 殿外九
【倉見】
大村(東1) 久保田輝夫 殿外二
大村(西1) 大和田文男 殿外六
大村(西2) 中澤博美 殿外六
才戸(南) 眞鍋精司郎 殿外七〇
才戸(東) 成田行夫 殿外七
原(南) 脇 治政 殿外二
原(北) 石渡恵三 殿外八
十(天北) 藤澤広志 殿外六
十(天第) 小西理夫 殿
新町 有馬久太郎 殿外七
南町 吉川 弘 殿外二
西町 磯崎 広美 殿外二
三、〇〇〇円

川端(東) 村上信男 殿外一
川端(西) 龜山美代子 殿外一五
桜町(上) 真間 敏幸 殿外四
桜町(中) 巢籠 富夫 殿外七
桜町(下) 荒木良一 殿外四
【大曲】
鈴木 烈 殿外四三
【田端】
東町 近藤 昭雄 殿外一五
西町 杉井 義治 殿外三四
南町 梅田 六郎 殿外一八
宿町 大谷 光昭 殿外一五
神之倉 石黒 忠正 殿外一八
【小動】
市川 幹雄 殿外二八
【講社】
墨東寒川講伊藤國雄 殿外三
寒川神社委員会 澤津 壽道 殿
八手奉仕講 今治 英而 殿外一八
【匿名】
九九、〇〇〇円

【匿名】
九九、〇〇〇円

平成二十六年 例祭 献灯者芳名

平成二十六年の例祭齋行にあたり、氏子崇敬者各位より多数の奉祝提灯のご献灯をいただき厚く御礼申し上げます。

ご献灯賜りました提灯は太鼓橋前に掲灯し、献灯奉告祭において各位のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。

- 入澤一三 (株)梅屋幸
- 中島啓介 寿重機(株)
- 前田隆一 (株)結商会
- 松本学 酒井米男
- 高橋竹材店 人の森(株)
- 金子 昭 河西工業(株)
- 大川静男 瀧川園茶舗
- 横溝隆義 (株)鈴野農機
- 市川元久 (株)オーカワ
- 大門 (株)大村紙業(株)
- (株)市川 (株)湘南山鉄
- 神恵苑 (株)永沢興業
- 長嶋園 (株)カナリヤ
- 豊月堂 (株)丸井紙店
- (株)阿部 昭和興産(株)
- (株)青葉 (株)青木商事
- (株)秋江 青山大寿司
- (株)木内 秋山商事(株)
- (株)高田 (株)北岡本店
- 生長園 北村工務店
- (株)藤又 (株)三沢米店
- 寒川病院 (株)山一工業(株)
- 東木材(株) (株)寒川建材
- 露木生花 (株)シノハラ
- 戸塚米店 (株)アークル
- (株)イソダ 川本工業(株)
- (株)コーメー 百崎製菓(株)
- (株)田中写真 中沢運輸(株)
- (株)サンユー 松井建設(株)
- (株)フルモト (株)ヒラボウ
- (株)平成工業 熊澤酒造(株)
- (株)日本精麦(株) 丸高工業(株)
- (株)村松商事(株) 村植藤造園
- 安藤物産(株) 大黒屋製菓
- 藤沢紙工(株) 藤沢紙工(株)
- (株)アックテイオ (株)神奈川中宣
- (株)力ネヤ商会 (株)壁島工務店
- (株)喜久屋酒店 (株)臼井青果店
- (株)金庫屋商店 (株)工房えむま
- 寒川町商会 寒川町商工会
- ほりむら薬品 下里自動車(株)
- 湘南信用金庫 湘南製板所
- (株)鈴木製所 (株)松いち食品
- (株)中島鐵工所 (株)山上工務店
- (株)アイネット (株)竹中工務店
- (株)雁沼江屋 (株)湘南ライン
- (株)内野不動産 (株)寒川製材所
- (株)香川第一交通 (株)ウスイ植物園
- こみな化粧品店 (株)さがみや菓舗
- (株)サダコ美容室 (株)金子建材土木
- 寒川町観光協会 (株)古山看板塗装
- ヨシカワ洋品店 森村ケミカル(株)
- (株)破魔矢奉製所 (株)長谷川製作所
- 鈴木徹章工芸(株) とんかつ水龍(株)
- (株)レスポアル 横浜貨物総合(株)
- さんこうどう 総合警備保障(株)
- 千寿会きくの郷 中野設計工務(株)
- (株)大島寅次郎商店 (株)寒川公衆衛生社
- (株)ジェイコム湘南 (株)晃和ディスプレイ
- (株)協和クリーニング (株)サンエーサンクス
- (株)FLプランニング アズビル(株)湘南工場
- レンゴー(株)湘南工場 (株)横浜銀行茅ヶ崎支店
- (株)ダイワ・エム・ティ (株)ノブ・リライアブル
- (株)ホデーショップ浜名 スリーエフ寒川宮山店
- レンブランドホテル厚木 (株)ヒダロジステックス
- (株)竹澤古典建築設計事務所 (株)グランドライン・マルシゲ
- さがみ農業協同組合寒川支店 (株)湘南ビューティブライタル
- 三井住友銀行藤沢法入営業部 旭ファイバークラス(株)湘南工場
- (株)アサヒファシリテイズ横浜支店 (株)アサヒファーマシーの宮薬局
- コカ・コーラセントラルジャパン(株) 日立オートモティブシステムズ(株)厚木事業所
- (株)JTBコボレットホテルス神奈川西支店

(順不同・敬称略)



平成二十七年

迎春神話ねぶた下絵完成

平成二十七年乙未年の正月に神門を飾る「迎春神話ねぶた」の下絵が完成致しました。

今回は、出雲神話より、「素戔嗚尊の八岐大蛇退治」の物語を主題にし、本場青森のねぶた師、北村蓮明氏により製作が進められております。



このねぶたの場面は、素戔嗚尊が、愛しい奇稲田姫を守るために計略をめぐらし、酒を飲み油断して眠りについた八岐大蛇を、勇気を振り絞り打ち倒そうとする姿が表現されており、参拝者の方には、先の見えない情勢でも、智恵と勇氣を持ち立ち向かえばどんな困難にも打ち勝つ事が出来るそして幸せ多き人生を歩んで頂きたいとの願いが込められております。

また、素戔嗚尊は厄除疫病除の神様として崇敬されており、ねぶたをくぐられ神様の御利益を頂き、厄を落とされることで、健康な一年を送られるよう祈念も致しております。

ねぶたは十二月二十日に神門に掲げられ、新年元旦午前零時に点灯、二月三日迄神門を飾ります。

◆青少年活動だより



寒川神社少年館

秋のハイキングを実施

秋晴れの晴天に恵まれた十月十九日(日)、館生五十名の参加を得て、秋のハイキングを実施した。

神社参拝後、先生と三つの約束(全員無事帰ること、全員で楽しむこと、課題を実行すること)を交わしてバスに乗り込み出発。

一時間後、県立あいかわ公園に到着し早速ハイキング。ヤマヒルやスズメバチ対策など装備を確認して杉や桧・樅の木の生い茂る登山道を進むこと約一時間心地良い汗をかいて森林浴を楽しんだ。その後、宮ヶ瀬ダムの上を歩いて、湖やダムの様子を上からも下からも見学。昼食は公園内を



一望する芝生広場で、秋風を感じながら気持ちよく手作り弁当を頬張り、お腹を満たした後は、持参した段ボールでソリ滑りを夢中になつて楽しんだ。また、公園内のアスレチックにも挑戦し、小さな体を思いっきり使った一日となった。
今回のハイキングでは、足腰を鍛え、ダムについても学び知力・体力を十二分に使い、三つの約束を守って全員無事帰館した。



BS寒川第二団

稲刈り実施 秋の稔りに感謝

ボーイスカウト寒川第二団では十月十二日に神饌田の稲刈りを実施しました。

本年は収穫直前、二度に亘り猛烈な台風に見舞われ一度は神饌田全面が池と見間違えるようなほど水に浸かり、稲が流されるなどした為、深刻な影響が懸念されましたが、丈夫に耐え抜いた稲は、スカウト達の頑張りにより順調に刈り進め

られ、何とか昨年並みの収穫が出来ました。
このもち米は今月二十三日の新嘗祭にお供えされ生育を見護って下さった神様に、収穫の喜びと感謝をお伝えすると共に、翌年五月三日に開催される、餅つき・バザー大会では、その米で餅つきを行い、活動資金の一部として活用させて頂いて居ります。



皆様のご来場をお待ち申し上げます。



GS神奈川第四十五団

秋の親子遠足

十月二十五日、全部門のスカウト親子で小田原へ遠足に出掛けました。

午前の活動では、かまぼこ・ちくわ作りを鈴廣の工場にて体験し、初めて使うかまぼこ包丁に苦戦しながらも思い思いの形に仕上げました。

また、焼立てのちくわも頬張り、その美味しさにもスカウト達も満足顔でした。



午後は、小田原こどもの森公園で部門ごとに元気いっぱい体を動かし、秋を満喫した一日となりました。



寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193
http://www.samukawabyouin.com



寒川病院診療表

初診受付 11:00迄

*月2回お電話で診療日をご確認下さい。

| 寒川病院 診療表 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|----|---------|-------|---------|-------------------|---------------------------|--|
| 内科 | 午前 | 1診 栗田啓司 | 武村文夫 | 栗田啓司 | 清水雄介 | 栗田啓司 | 鳴海裕之 |
| | 午後 | 2診 | | | 岸仲正則 | 円谷斉子 | 武村文夫 1,3,5週 栗田啓司 2,4週 |
| | 午後 | 3診 | 鳴海裕之 | 鳴海裕之 | 武村文夫 | 清水雄介 | 円谷斉子 |
| 神経内科 | 午前 | | | | | | |
| | 午後 | | 栗田啓司 | | | | |
| 呼吸器内科 | 午前 | | | | | | *谷塚俊守(月2回)(予約) |
| | 午後 | | | | | | |
| リウマチ科 | 午後 | | | 内山光昭 | | | |
| 糖尿病内科 | 午前 | 武村文夫 | 丸山真弓 | 丸山真弓 | 武村文夫 | 丸山真弓 | |
| | 午後 | | | | | 宮武 範 | |
| 循環器内科 | 午前 | | 干場泰成 | | | | 神田茂孝 |
| | 午後 | | | | | | |
| 外科 | 午前 | 1診 木勢佳史 | 原 正 | 徳田裕(乳腺) | 原 正 | 宮北寛士 | 原 正 1,3,5週 木勢佳史 2,4週 |
| | 午後 | 2診 | | 石田秀樹 | 岡村卓穂(乳腺) | 劉孟娟(乳腺) | |
| 脳神経外科 | 午後 | 1診 | 原 正 | 鍋島一仁 | 15時30分まで担当医 休診 | 木勢佳史 | |
| 皮膚科 | 午後 | 2診 | | | 岡村卓穂(乳腺) | | |
| 泌尿器科 | 午前 | | 太田多美 | 倉繁拓太 | 川井麻友 | 渡辺絢子 | |
| | 午後 | | 金 伯士 | | | | |
| 整形外科 | 午前 | 1診 城倉雅次 | 城倉雅次 | 城倉雅次 | 金 俊男 | 城倉雅次 | 江口英人 1,4,5週 2週休診 |
| | 午後 | 2診 | | | | 岡崎 敦 1,3,5週 竹 元 暁 2,4週 | 城倉雅次 1,3,5週 2週休診 |
| | 午後 | 城倉雅次 | 休 診 | 坂口 彰 | 金 俊男 | 岡崎 敦 1,3週 竹元 暁 2,4,5週 | |
| 眼科 | 午前 | 木勢由利子 | 木勢由利子 | 小林綾子 | 保科真理 | 木勢由利子 | 及川哲平 1週 木勢由利子 2,4週 嶋村慎太郎 3週 休診 5週 |
| | 午後 | 木勢由利子 | 小林綾子 | 及川哲平 | 鈴木崇弘 | 鈴木崇弘 | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | 太田麻由里 | 大上麻由里 | 大上麻由里 | 大上麻由里 | 小田桐恭子 | 大上麻由里 |
| | 午後 | 大上麻由里 | 厚見 拓 | 大上麻由里 | 大上麻由里 | 関根基樹 | |
| 内視鏡 | 午前 | 原 正 | 鳴海裕之 | 荒瀬吉孝 | | 木勢佳史 | 木勢佳史 3週 原 正 4週 |
| | 午後 | 木勢佳史 | 原 正 | | | 鳴海裕之(2,3週) | |

人 事

◆新採用

△参集殿

台野ほなみ

◆退職

△参集殿勤務を命ずる

平成一十一年十一月一日

参集殿勤務を命ずる

平成一十一年十一月一日

△寒川病院

宇戸由美子
増田 和貴

今月の木札

◀ 霜 月

月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です



いつも笑顔でいると福の神さまが幸せ運をくれますね
色取り取りの着物を纏い、参拝する七五三詣の子供達、屈託ない笑顔は、見ている人を幸せな気持ちにしてくれる。神様は「心直く行い正しくして、麗しき国民と成らしめ給え」と祝意を込め、子供達の行先を見護るのである。

医療講演会のご案内

と き 平成二十六年十一月十三日(木)

午後二時〜三時

ところ 寒川神社参集殿

入場無料(申込不要)

内容 「便秘と健康」

講師 医局長 木勢佳史

問合せ 電話 〇四六七(七五)六六八〇

寒川病院

寒川病院勤務を命ずる

平成二十六年十一月一日

△神恵苑

介護福祉士 内山 直美

神恵苑勤務を命ずる

平成二十六年十一月一日

△神恵苑

介護職員 佃 章市呂

願いに依り職を免ずる

平成二十六年十月三十一日

冬川俳壇

岩木嶺を背に育つりんごかな
 初穀の中を弄る林檎かな
 りんごむく長さを一人たのしめり
 拝殿の隅に地酒や村祭



途中まで迎へに出るや十三夜
 冬瓜を一つ貰って持て余す
 菊日和少女が貰う平和賞
 鎌止めて深き一服天高し
 白萩の風の声聴く兵の墓
 潮騒のきこえる窓辺十三夜
 鳴りながら秋の風鈴しまはるる
 蛇穴に入るを見て居て吠える犬
 リンゴ届く里の匂ひの新聞紙
 草虱付けたるままで厨事
 そそくさと暮色を急ぐ刈田みち
 筆太に一念書きぬ曼珠沙華
 菜畑の荒し尽くされ野分後
 逝く秋や心は何時モ一人旅
 闇深し金木犀の濃く匂う
 秋日和ペーパーには愛犬を
 この世とは木蔭にそつと秋の蝶

根岸 君子
 菅沼 保幸
 皆川志んご
 松本美智子
 岩田美代子
 倉谷 節子
 菅沼つめの
 飛石 槿花
 金指 月光
 伊藤 公一
 芹澤 徳光
 松村 信篤
 金子 つち
 浦野 房子
 山本 朝子
 露木てる子
 宮入 つる
 天沼 子平
 竹村真砂美
 三輪 恭子
 原野 楽天

十一月 手水舎奉揚

新米を

神にささぐる 今日の日には
 深くもおもふ 田子のいたつき

昭和天皇御製

相模詠草

草生いの川土手に添う相模線四輪電車朝露を来る
 太陽が海にかくれるいつしゆんのまばゆい光キラキラ続く
 百日紅淡いピンクにむらがりて咲く花房の重々揺れる
 汗流し農で働く親たりし暑さの夏に亡き父偲ぶ
 事もなく過ぎし一日の終い風呂手足を伸ばし安らぎてあり
 地中から今出て脱皮の白い蝉羽の輪郭青く光れる
 漱石の「こころ」を読むに魅了する心の奥の深き描写に
 何げなくツーンと茎伸す水引草赤・白揃い小陰に咲ける
 ぼんぼんとまわし打つ音いせい良く力士は勝に願いを込める
 月下美人の五つの花がひらきたり息をひそめてじつと見てをり
 おとなりの気づかいうれしもつこつばら我窓下にうえて下さる
 電線につばめの親子エンビ服チエツチエツと巣立ちの朝
 真夏日の太陽受けて青田の緑色濃く育ちゆく稲
 朝どりの野菜刻みて茗荷薫る即席しば漬朝食の進む
 酷暑続き四季咲の薔薇の懸命に咲かせる花の淡きくれない
 夕暮れの物干竿に鳩の居り物言いたげに吾を見てあり
 湖に映れる白雲ひと片の流れ去るまで見とどけて立つ

宇田川時子
 土屋トミ子
 浜田 寿子
 山口 幸子
 山根喜美代
 亀山 文子
 安藤 慧
 川島恵美子
 天利 春枝
 平澤まさえ
 稲垣 武子
 吉田 幸子
 三留とく子
 宮治友美枝
 徳江 直子
 岡元 芳子
 杉本 照世



表紙写真説明

菊の特設撮影台にて記念写真を撮る七五三詣の親子

編集後記

秋晴を表す言葉には、秋日和 秋澄む・秋麗・菊日和等様々

ありそれぞれ趣を異にする。文章で表現するのは難しいが聞いただけで何となく理解できてしまうのが不思議である